

インストールおよびセットアップガイド

DataPage+ 2013

目次

前提条件コンポーネントのインストール	1
概要	1
ステップ 1: Setup.exe の実行とウィザードの開始	1
ステップ 2: 使用許諾契約への同意.....	2
DataPage+ ソフトウェアのインストール.....	5
概要	5
ステップ 1: ウィザードの開始.....	5
ステップ 2: エンドユーザー ライセンス契約	6
ステップ 3: セットアップの種類を選択.....	7
ステップ 4: インストールのクリック	11
ステップ 5: インストールの終了	12
ステップ 6: インストールしたコンテンツの確認	13
プログラムファイル.....	13
デモデータベース ファイル	14
DataPage+ をはじめて使用する	15
概要	15
ステップ 1: ソフトウェアの開始	15

ステップ 2: 「はじめに」に進む	15
インストールのトラブルシューティング	17
概要	17

前提条件コンポーネントのインストール

概要

ここでは以下の前提条件コンポーネントを取り扱います:

- Microsoft .NET Framework 4
- Microsoft SQL Server 2008 Express

ステップ 1: Setup.exe の実行とウィザードの開始

CD/DVD からインストールする場合、メインの **setup.exe** (図 1) をダブルクリックします。

ダウンロード可能なファイルからインストールする場合、ダウンロードしたアーカイブからコンテンツを解凍し、そこから **DataPagePlusSetup.exe** ファイルをダブルクリックします:

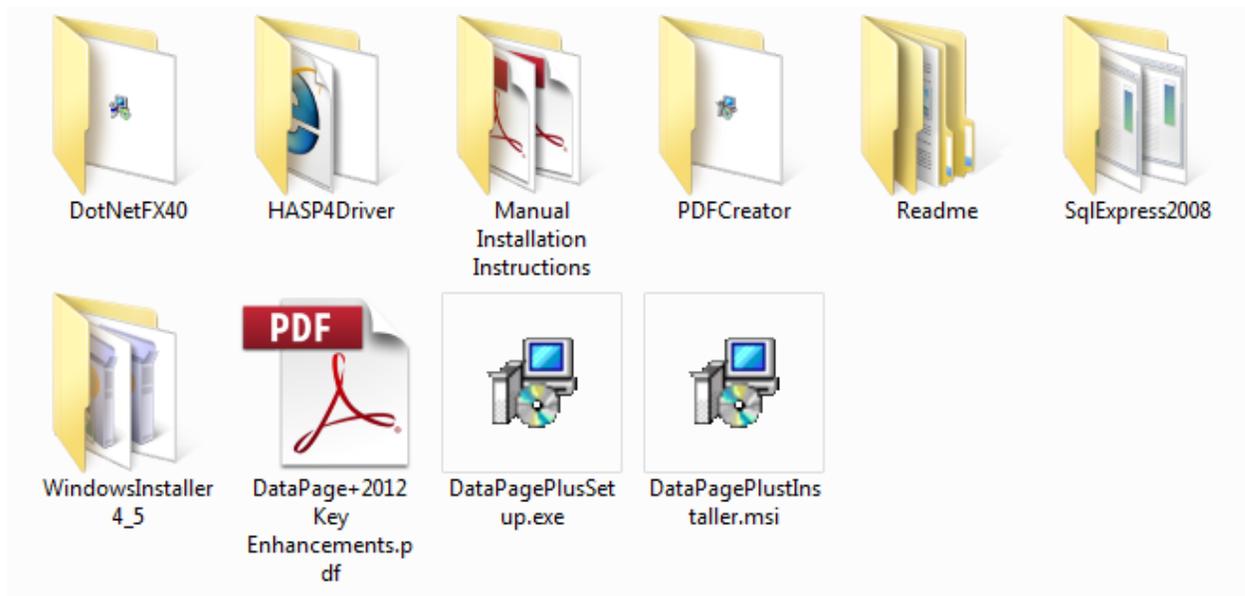


図 1 – Setup.exe ファイル

インストールウィザードが開きます。前述の必要なコンポーネントが見つからない場合、インストールパッケージはメインの DataPage+ アプリケーションをインストールする前にそれらのインストールを試みます。

ステップ 2: 使用許諾契約への同意

表示された使用許諾契約へ同意します:

- 表示されたら、Microsoft .NET Framework 4 コンポーネントの [同意する] をクリックします (図 2)。
- 表示されたら、Microsoft SQL Server 2008 Express の [同意する] をクリックします (図 3)。

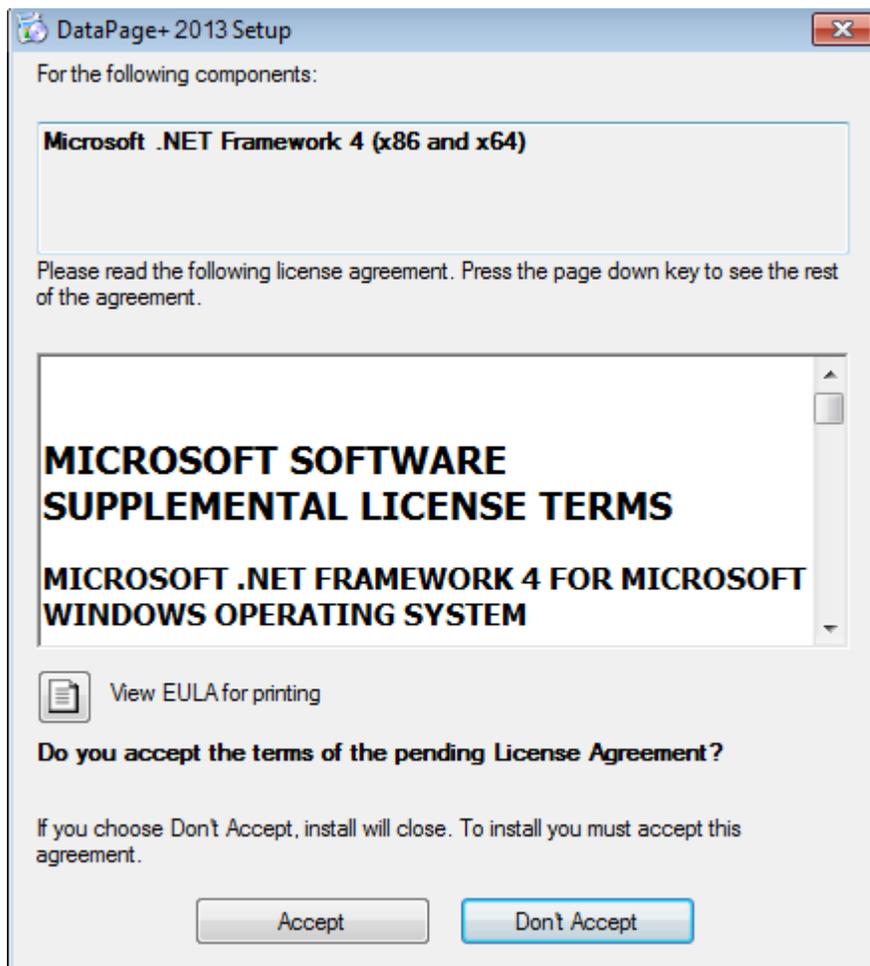
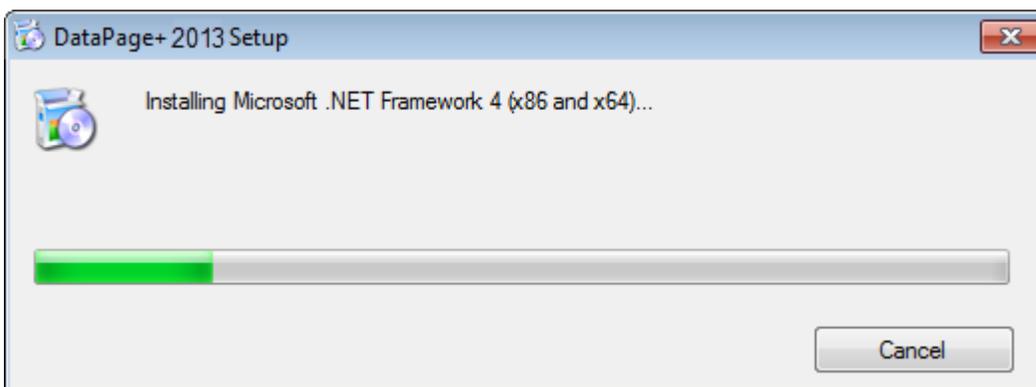


図 2 – Microsoft .NET Framework 4 使用許諾契約の同意待ち

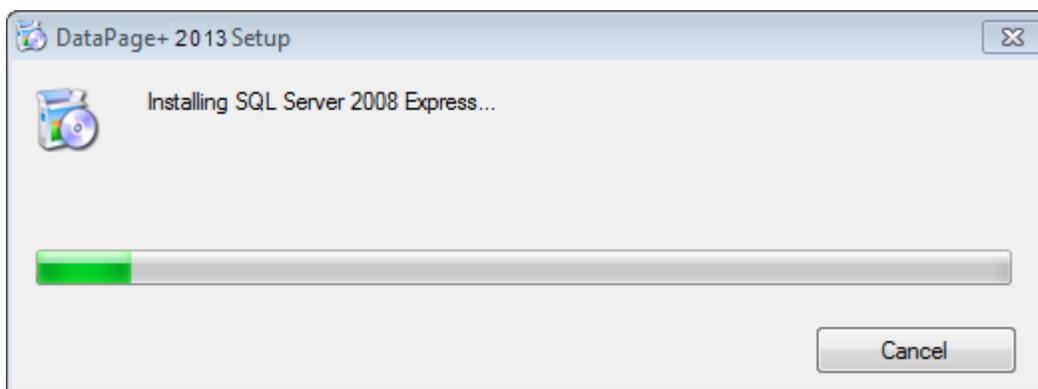


図 3 – SQL Server 2008 使用許諾契約の同意待ち

はじめに .NET Framework 4 の進行状況バーが現れます:



コンポーネントがインストールされたら、その直後に SQL Server 2008 Express のインストールを表すもう 1 つの進行状況バーが現れます:



これら必要なコンポーネントをインストールするには数分かかります、しばらくお待ちください。

.NET Framework 4 および MS SQL Express 2008 コンポーネントがインストールされたら、直ちにインストールプログラムはメインの DataPage+ インストールを開始します。5 ページの「DataPage+ ソフトウェアのインストール」を参照してください

DataPage+ ソフトウェアの インストール

概要

ここでは DataPage+ アプリケーションのインストールのみを取り扱います。インストーラはすでに前提条件コンポーネントをインストール済みである必要があります。詳しくは 1 ページの「前提条件コンポーネントのインストール」を参照してください。

ステップ 1: ウィザードの開始

注記: setup.exe インストールセットアッププログラムを実行した時に既存のバージョンの Datapage+ が既にシステムに存在する場合、既存のインストールを修復するか削除するか選択するオプションが与えられます。

さらに、完全インストールセットを実行する場合、このインストーラは現在のシステムで MS .NET Framework 4 を見つけられない場合はインストールを行います。

.NET Framework 4 および MS SQL Express 2008 コンポーネントがインストールされたら、インストーラプログラムは直ちにメインの DataPage+ インストールを開始します。

Datapage+ セットアップウィザードが自動的に現れ、このプロセスをガイドします。ボックスに入力して目的のオプションを選択します。各画面で [次へ] をクリックします。

最初の「ようこそ」画面 (図 4) で、[次へ] をクリックしてウィザードを開始します:

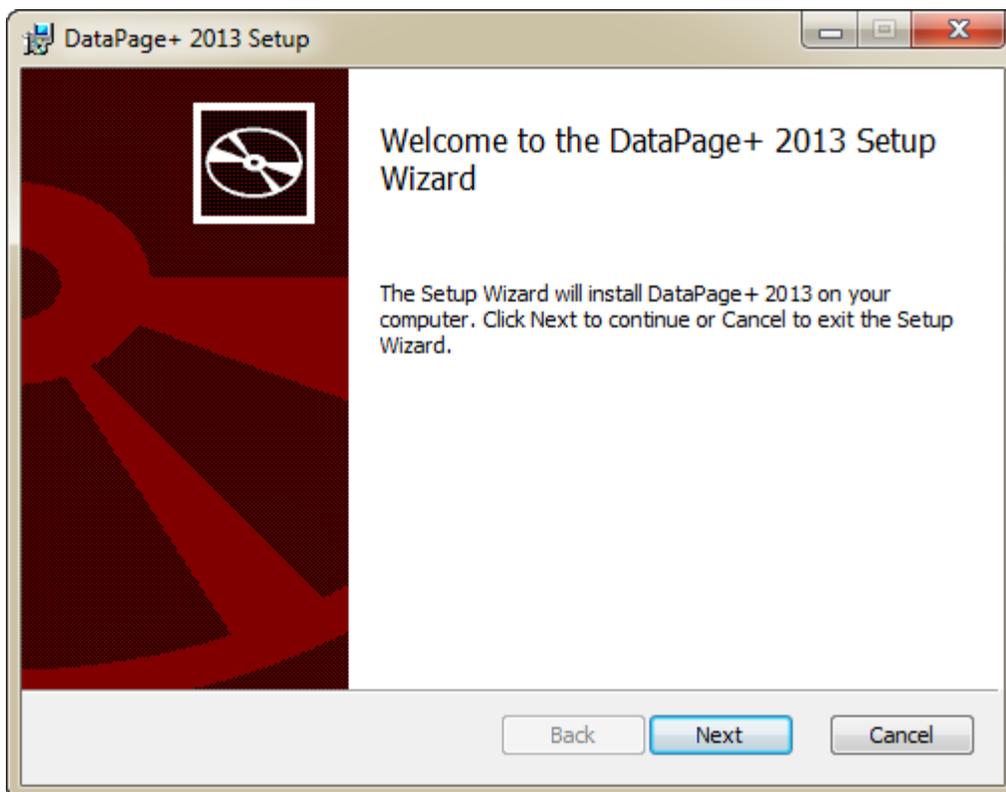


図 4 - 最初のようなこそ画面

ステップ 2: エンドユーザー ライセンス契約

エンドユーザーライセンス契約 画面が現れます (図 5)。



図 5 – エンドユーザーライセンス契約画面

使用許諾契約を読み、同意したら、[次へ]をクリックします。

ステップ 3: セットアップの種類を選択

[セットアップの種類を選択] 画面からセットアップの種類を選択します(図 6)。

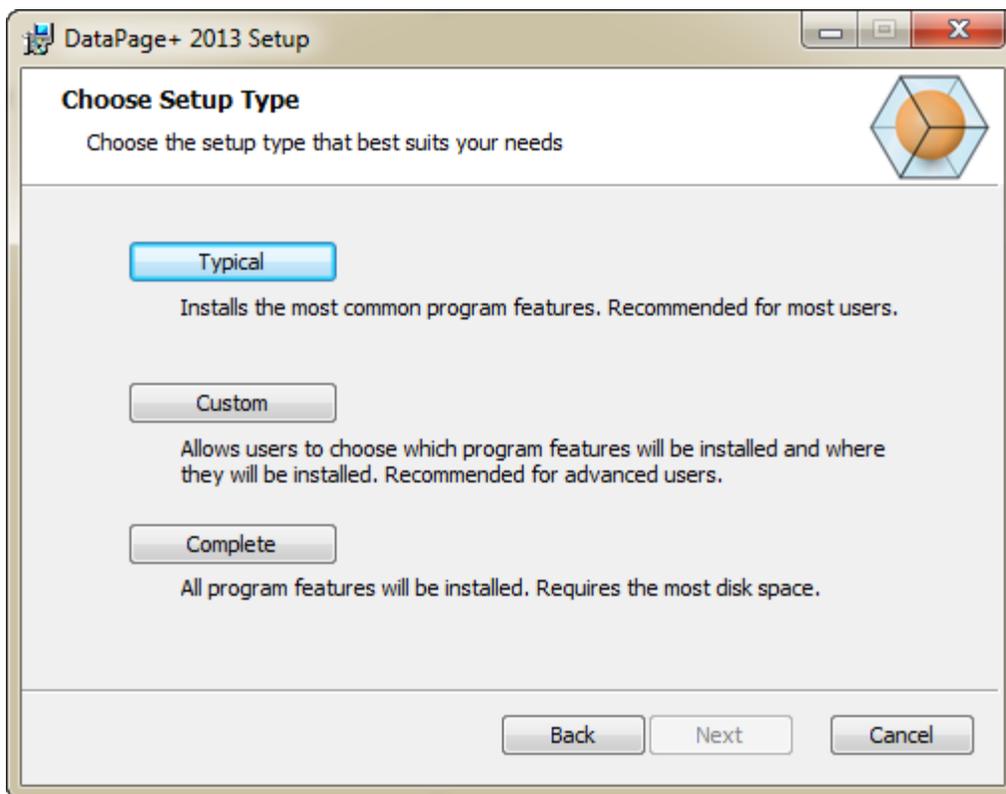


図 6 - [セットアップの種類を選択] 画面

一般 - このオプションは、共通のプログラムファイルを次のデフォルトのインストール場所にインストールします: C:\Program Files\WAI\DataPage+ 2013 または C:\Program Files (x86)\WAI\DataPage+ 2013。

カスタム - このオプションは、インストールするコンポーネントを指定し、インストールの場所をカスタマイズできます。以下の画面が現れます (図 7)。

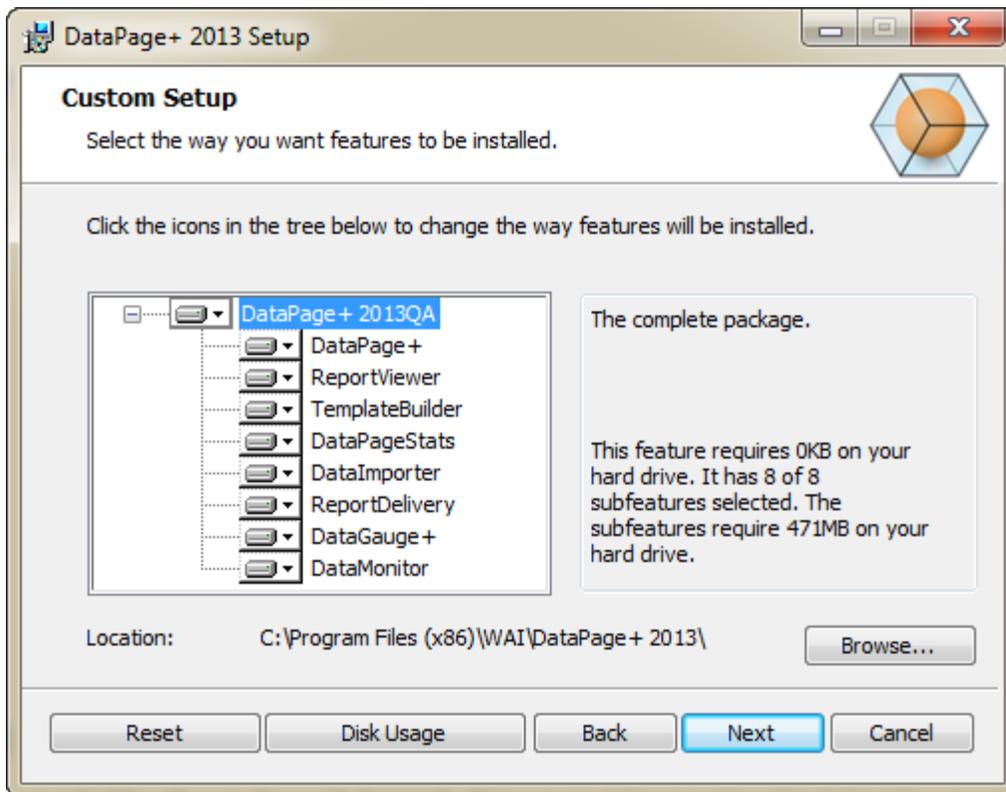


図7-カスタムセットアップ画面

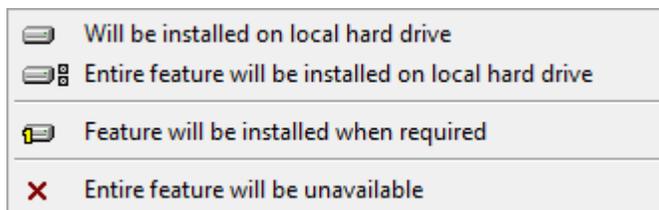
インストールするツールを選択します:

- **Datapage+** - これは、メインの Datapage+ アプリケーションをインストールします。
- **レポートビューア** - これは、スタンドアロンのレポートビューアをインストールし、作成および保存されたレポートを Datapage+ 内から表示できるようにします。
- **テンプレートビルダ** - これは、DataPage+ レポートテンプレートを作成または変更するアプリケーションをインストールします。
- **DataPageStats** - これは、DataPageStats.exe ユーティリティをインストールします。このツールは PC-DMIS パーツプログラム内から DataPage+ の XML 統計ファイルを新規に作成します。
- **DataImporter** - これは DataImporter.exe ユーティリティをインストールします。このツールはサポートされるファイル形式のデータをインポートする、ローカルコンピュータ内の特定のディレクトリを監視します。

- **ReportDelivery** – これは ReportDelivery.exe ユーティリティをインストールします。このツールは DataPage+ のレポートを自動的に指定のディレクトリに送信または指定されたあて先にメール送信します。
- **DataGauge+** - これはゲージを使用して測定されるパーツテンプレートを定義し、測定データをデータベースに保存する DataGauge+ アプリケーションをインストールします。
- **DataMonitor** – これは DataMonitor アプリケーションをインストールします。このツールはレポートを生成する必要なく受信データを監視します。

インストールされた機能のカスタマイズの概要

デフォルトでは、すべてのプログラムコンポーネントは、インストールに含まれるように選択されています。これらの要素がインストールされている場合に、ツリービューを使用してカスタマイズできます。これをするためには、除外したいコンポーネントの隣のドロップダウン アイコン  をクリックしてください。ドロップダウンリストが表示されます。



- **ローカルハードドライブにインストール** - 選択した機能がコンピュータのハードドライブにインストールされます。
- **ローカルハードドライブに全機能をインストール** - 全ての機能がコンピュータのハードドライブにインストールされます。これは、選択した機能のサブ機能もインストールされることを意味します。
- **必要に応じて機能をインストール** - インストール・プロセス中に必要な場合のみに機能がインストールされます。いく一部のファイルは情報で、アプリケーションの実行のために必要なものではありません。これらはドキュメンテーションあるいは他のファイルを含んでいることもあります。
- **全体の機能が使用できなくなります** - これは、インストールからコンポーネントを除外します。

インストール場所のカスタマイズ

デフォルトでは、このプログラムは、""DataPage+ 2013" ディレクトリ下の "C:\Program Files\WAI\" または "C:\Program Files (x86)\WAI" ディレクトリにインストールされます。デフォルトの場所を変更するには、コンピュータで [参照] ボタンをクリックし、プログラムファイルを格納したいディレクトリに移動します。[OK] をクリックすると [場所] ボックスが変わり、選択した場所が表示されます。

項目をデフォルトの選択にリセットするには、[リセット] をクリックします。

必要に応じて、[ディスク使用量] ボタンを使用して現在選択されているディスクドライブの空き容量を表示し、選択したコンポーネントをインストールするためにどれだけの容量を使用するのかを表示します。

完全 - このオプションはすべてのプログラムファイルを以下のデフォルトのインストール場所にインストールします: C:\Program Files\WAI\DataPage+ 2013 または C:\Program Files (x86)\WAI\DataPage+ 2013

インストールのカスタマイズが終了したら、[次へ] をクリックします。

ステップ 4: インストールのクリック

インストールに必要な情報のすべてが揃ったら、[インストールの準備完了] 画面が現れます (図 8)。

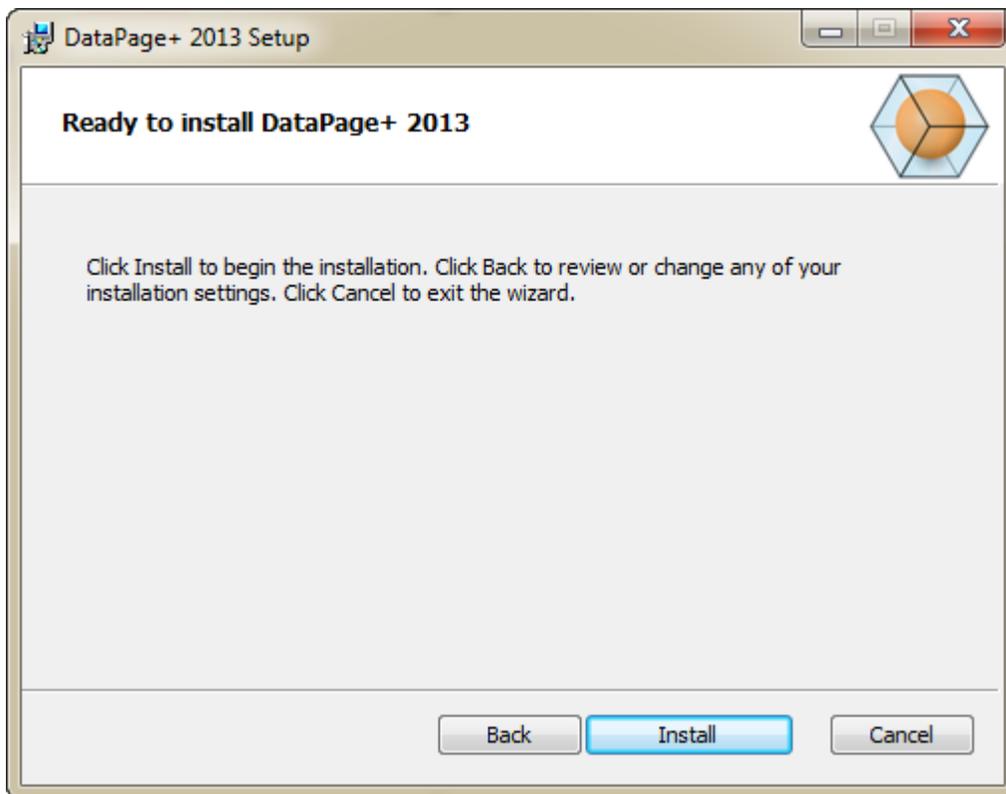


図 8 – インストールの準備完了画面

[インストール] をクリックすると実際にインストールが開始します。

[DataPage+ のインストール] 画面が現れ、インストールの進行状況が表示されます:

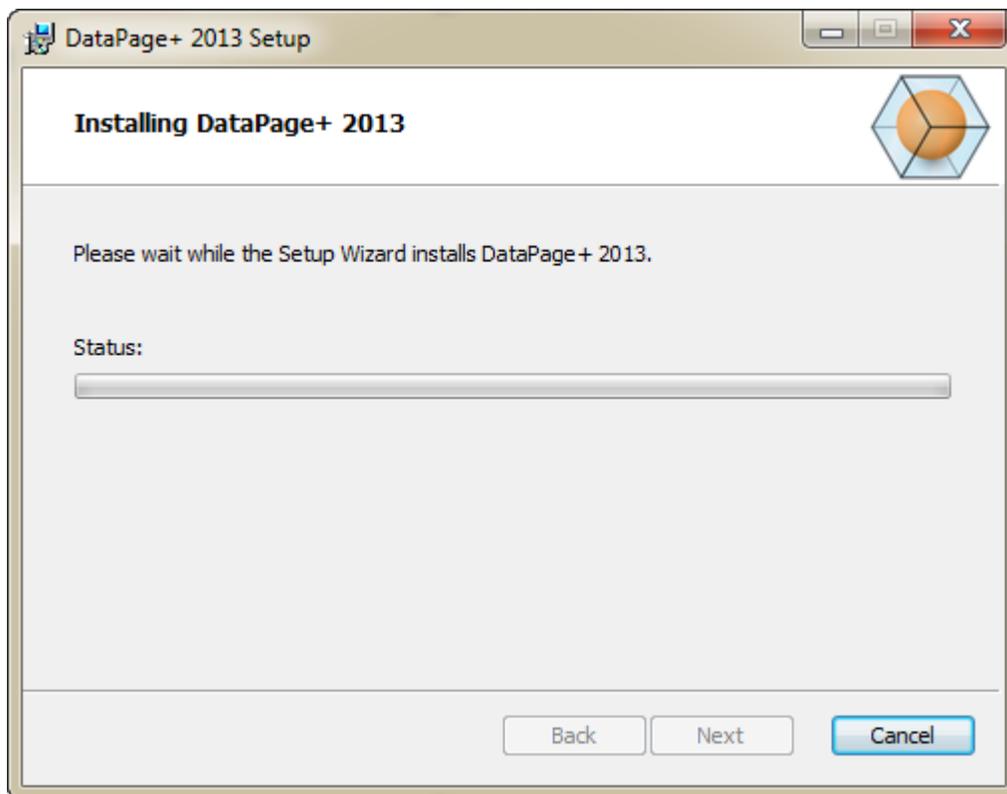


図 9 – インストール画面

ステップ 5: インストールの終了

DataPage+ が必要なファイルとショートカットのインストールを終了すると、[終了] ボタンが利用可能になります。[終了] ボタンをクリックしてウィザードを終了します。

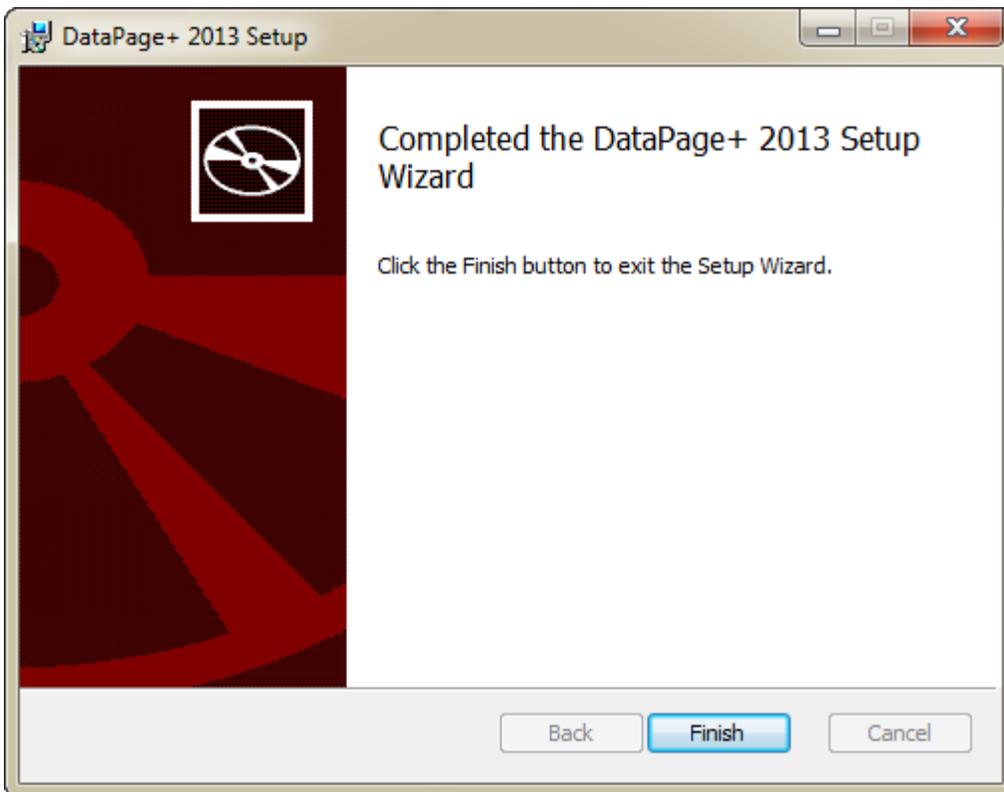


図 10 – インストールの完了画面

[終了] をクリックした後、インストールされたショートカットアイコンにアクセスして DataPage+ を起動できます。

ステップ 6: インストールしたコンテンツの確認

DataPage+ をインストールすると、ソフトウェアはユーザーの Windows オペレーティングシステムに基づいて以下のデフォルトディレクトリにファイルをインストールします:

プログラムファイル

プログラムファイルはユーザー指定のインストールディレクトリにインストールされます。これには実行ファイル、ツール、XML ファイル、レポート、ヘルプファイル、追加のファイルが含まれます。デフォルトの場所を以下に示します:

Vista/7:	C:\Program Files\Wai\DataPage+ 2013 または C:\Program Files (x86)\WAI\DataPage+ 2013
-----------------	--

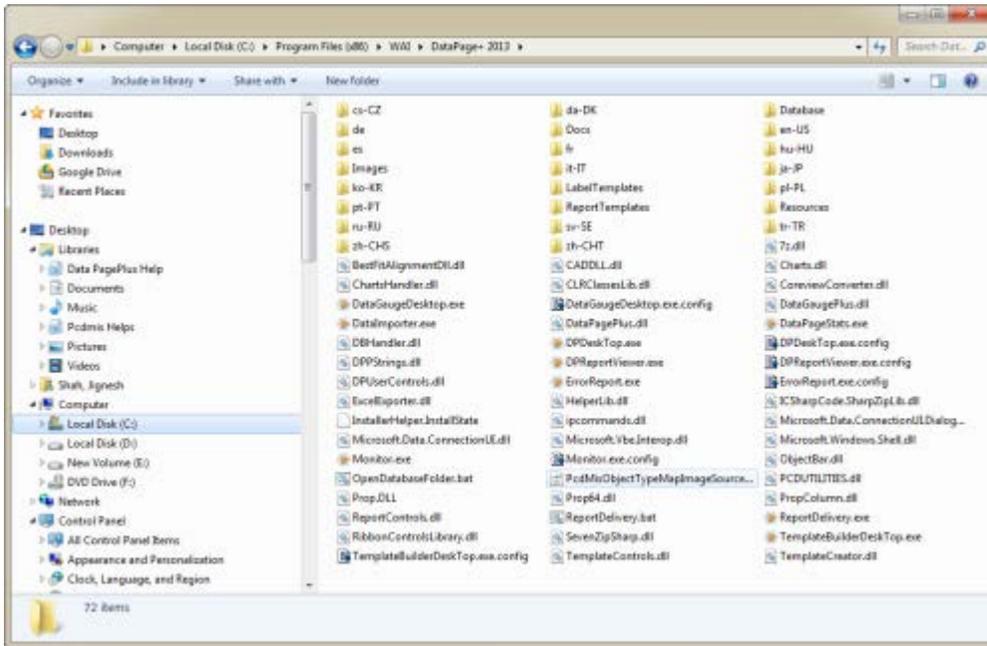


図 11 - インストールされたプログラムファイル

デモデータベース ファイル

デモデータベースをインストールに含めることを選択した場合、Datapage+ は以下のデータベースファイルを以下の場所にインストールします:

Vista/7:	<p>C:\Users\<<username>\AppData\Roaming\DPPlusDatabase\ ここで、<username> はユーザー名</p>
-----------------	---

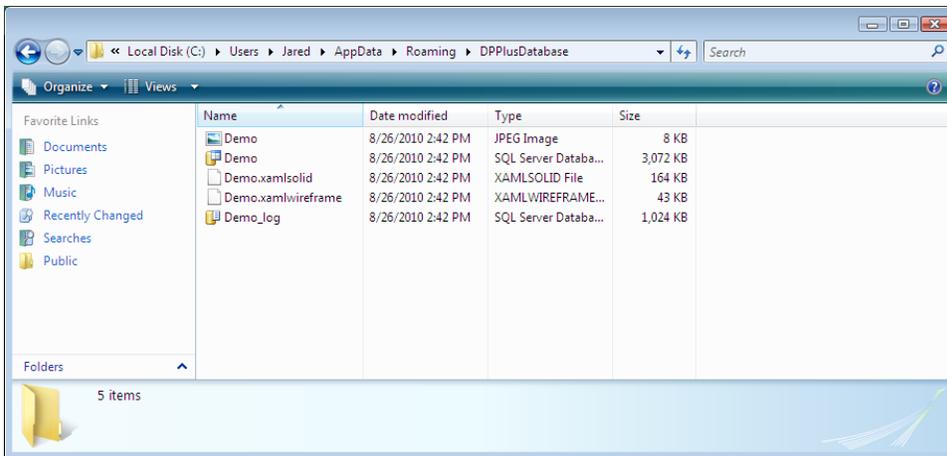


図 12 - インストールされたデモデータベース

DataPage+ をはじめて使用する

概要

ここでは、DataPage+ ソフトウェアをはじめて使用する場合に役立つ情報を説明します。

ステップ 1: ソフトウェアの開始

DataPage+ がインストールされたら、プログラムショートカットがインストールされた場所で **DataPage+** アイコンをダブルクリックしてアプリケーションを起動します (図 13)。

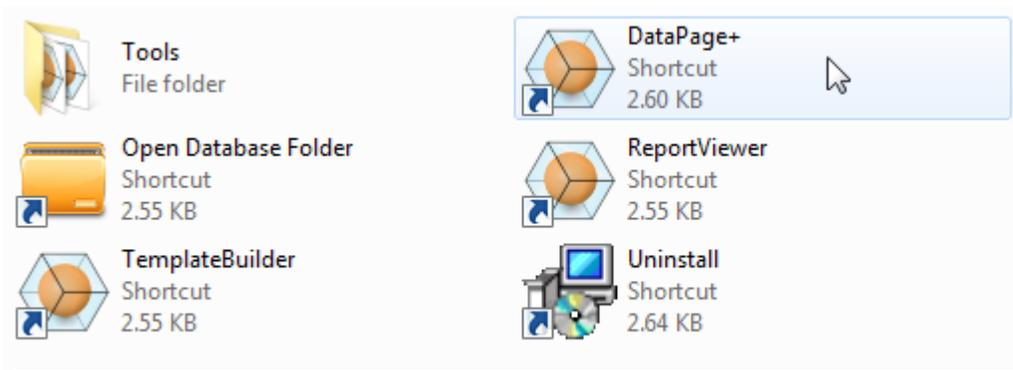


図 13 – プログラムのショートカット

ソフトウェアはデモデータベースへの接続を試みます。すべてが順調に進んだら、ログイン画面が現れます。

ステップ 2: 「はじめに」に進む

データベースの接続に問題がある場合、またはデータベースに接続しているが単に初回の登録またはログインが必要な場合、DataPage+ ヘルプファイルの「はじめに」にアクセスします:

1. アプリケーションウィンドウの右上にあるヘルプボタンをクリックします (図 14)。

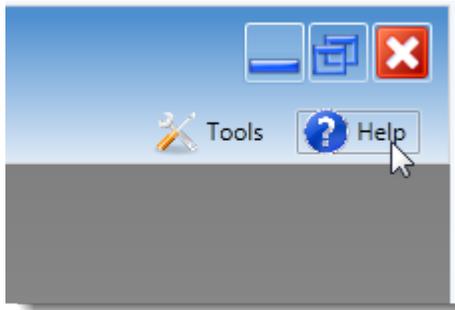


図 14 – ヘルプボタン

2. ヘルプファイルの最初に現れる [ようこそ] 画面から、[はじめに] へのリンクをクリックします (図 15)。

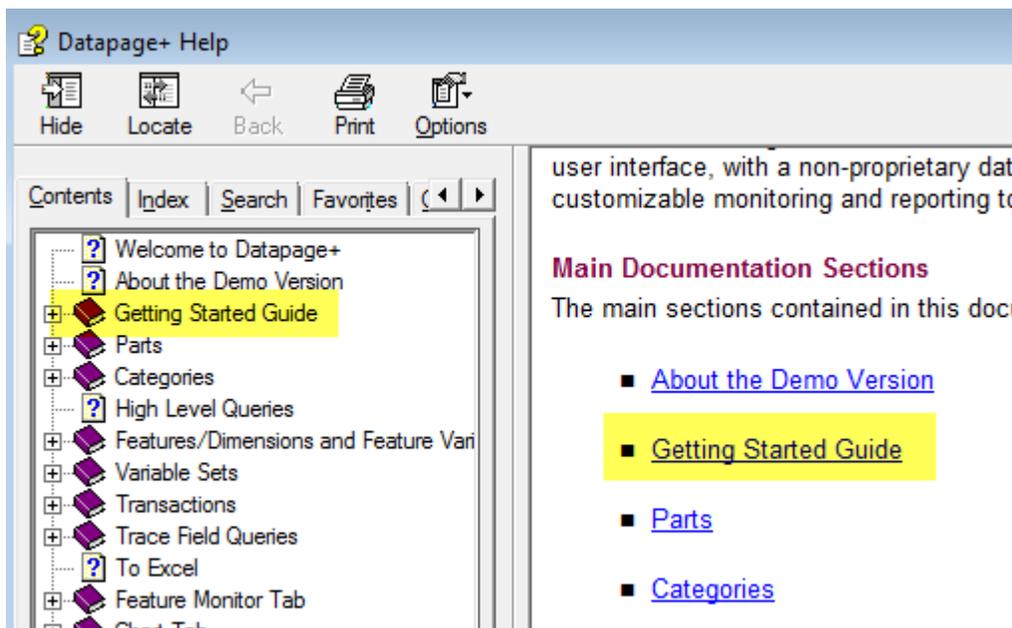


図 15 – [はじめに] へのアクセス

ヘルプファイルの [はじめに] が開きます。ここには新規ユーザー向けに以下の役立つトピックに関する情報が含まれています:

- データベースの接続
- 登録およびログイン
- 既存の統計データのインポート

- PC-DMIS から Datapage+ へのデータ送信
- ユーザーインターフェイスの概要
- 使用に関する概要

インストールのトラブルシューティング

概要

DataPage+ または必要なソフトウェアコンポーネントが正しくインストールできない、または正常に実行できない場合、前のバージョンの Microsoft SQL Server 2005 Express と競合している、あるいはその他の設定に問題がある可能性があります。

その場合、手動でのインストールや必要なソフトウェアコンポーネントの設定を実行しなくてはならないこともあります。これを行うには、インストールファイルの "Manual Installation Instructions" ディレクトリにある PDF セットアップガイドを参照してください。